

サービス関連への就労に必要な力を身につける作業学習 ～熊本県立熊本支援学校の総合サービス班の取組～

熊本県立熊本支援学校 高等部、高等部東町分教室

1 作業学習における総合サービス班の設置

知的障がい者を教育する特別支援学校では、卒業後の就労に必要な生徒の働く力をつけるために、作業学習を実施しています。これまで作業学習といえば、農園芸、木工、窯業、縫製、製菓など、もの作りを中心とした活動が行われてきました。しかし、社会の変化により、近年はサービス関連の業種に多くの知的障がいのある人が就労をしています。

そこで熊本支援学校では、サービス業への就労に向けて必要な力を身につけるべく総合サービス班を設置し、非ものつくり系の学習活動に取り組んでいるところです。今年度発足した本校高等部と、分教室開設当時から実践を積み上げてきた高等部東町分教室の取組をそれぞれ紹介したいと思います。

2 本校高等部の取組

(1) 近隣の学校や高齢者施設における清掃サービスの取組

県立湧心館高等学校や特別養護老人ホームで、週1回ずつ清掃作業を行っています。作業内容としては、屋外の除草や掃き掃除、施設内の窓拭き床掃除などです。毎回の作業後の報告の際には、学校長や施設長からの温かい言葉をいただき、人の役に立つことの喜びを感じたり、次の作業への励みとなる力を得たりするなど、働く意義や勤労観を養うことができています。

(2) カフェの取組

カフェ活動のイメージが持てるよう、活動に入る前に熊本市内の

コーヒー販売店を見学して、接客やコーヒーの淹れ方等を学びました。また、各教科等とも関連を持たせて、国語で言葉遣い、数学で電卓を使った計算や金銭の学習等、職業で挨拶や接客マナー等を学習したり、グループを決めて役割分担をしたりしたことで、生徒全員が自信を持って仕事に取り組めるようになりました。

保護者会や授業参観、他校との交流学习等で経験を重ねていき、文化祭(ゆうし祭)では、多くのお客手を相手にカフェ業務に 取り組むことができました。今後は、定期的な校内での活動を目指しながら対外的な活動も視野に入れて展開する予定です。



湧心館高校での
清掃作業場面

3 高等部東町分教室の取組

熊本聾学校内にある東町分教室では、接客(喫茶サービス)・介護・洗車・ビジネスマナーなどの学習を行っています。今年度は特に接客(喫茶サービス)の取組に力を入れており、アビリンピックへの出場を目標に練習を行いました。アビリンピックでは、お客様の案内と品物の提供、退店後の片付け等を5分程度で行います。練習を始めた当初は、決められたセリフを言うことに必死で、お客様のことを考えずに接客する様子が多く見られました。しかし、練習を重ねることで、「お客様に何を伝えたいのか」「お客様が心地よく過ごすためにはどのように接すればいいのか」など、相手のことを考えた接客ができるようになりました。競技会当日は、いつもと違う環境でとても緊張していましたが、いざ競技が始まると日頃の練習の成果を発揮し、笑顔でお客様と接することができました。

接客以外の取組でも「相手のことを考える」ということを基本に行っており、介護ではベッドメイキングや体位変換などの直接介護、レクリエーションの進行などの演習を行っています。



喫茶サービスの
練習場面

4 今後に向けて

総合サービス班の作業学習は、サービス関連の就労に必要な力である、接客、言葉遣い、思いやり、おもてなしの心など、今までの作業学習では得ることが難しかった新たな力を育てる可能性を持っています。生徒たちが更に力をつけて意欲的に取り組めるよう、十分な学習のノウハウを蓄積しながら、外部の機関との連携を深めたり、作業内容や支援方法等を工夫したりしていきたいと思ひます。